



参加無料

SECURITY & PROGRAMMING CAMP 2008

未来を「つくる」
未来を「守る」



応募要領

セキュリティ&プログラミングキャンプ2008

高度IT人材の早期発掘と育成に向けて、若年層のセキュリティ意識の向上、オープンソースやプログラミングについての理解
そして優れたセキュリティ・プログラミング人材の発掘と育成を行うべく、

合宿形式で情報セキュリティやプログラミングについて学ぶ「セキュリティ&プログラミングキャンプ2008」を開催します。

情報セキュリティやプログラミングについて、真剣にかつ本格的に学びたいという意欲を持った

22歳以下の学生・生徒の参加を広く募集します。

主催：独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) 財団法人日本情報処理開発協会 (JIPDEC)

後援：経済産業省(予定) 文部科学省(予定) NPO日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)

応募要領

1. 開催目的

2004年度より毎年開催している「セキュリティキャンプ」は、若年層のセキュリティ意識の向上と優秀なセキュリティ人材の早期発掘・育成という当初の目的に沿って、これまで数多くの将来有望な人材を輩出してきており、セキュリティ業界に留まらず各方面から、高度なセキュリティ人材育成の有益なイベントとして認知されつつあります。

5回目となる本年度は、さらに広い意味での高度IT人材の早期発掘と育成に向けて、オープンソースやプログラミングの分野における優れた人材の早期発掘・育成を目的の一つに加えて、情報セキュリティやプログラミングに関する高い意識と技術力を持った人材の発掘と育成を行うべく、次世代を担う中等高等教育段階にある就業前の若者を対象に、合宿形式で情報セキュリティやプログラミングについて学ぶ「セキュリティ&プログラミングキャンプ2008」として実施いたします。

本キャンプは、セキュリティコースとプログラミングコースの2コース制で同じ日程同じ会場で開催します。

◎それぞれのコースの具体的な目的は、次の通りです。

★セキュリティコース

高度な人材を発掘・育成する場の一つとして、情報セキュリティを中心としたITについての意識が高く、将来的に優秀な人材として期待される若い世代に対し、情報セキュリティを中心として化実現のための技術的な目標と高い技術修得への励み、及び安全かつ信頼性の高い化の進展について正しい知識を与えることを目的とする。モラル面や法律面などの実習を加味して様々な側面からセキュリティ意識および技術の高い人材を育成することを目指して、セキュリティ技術の実習と演習を行うとともに、セキュリティ業界人、法曹関係者及び学者などセキュリティに関する識者の講義や交流会を実施し、高度な知識と共に法遵守の精神の啓発を行う。

★プログラミングコース

高度なソフトウェアを設計・開発できる『可能性』がある若い人材を早期に発掘し、その可能性を現実のものに近づけていくことを目的とする。具体的には、22歳以下の若者を対象にオープンソースソフトウェアを基本に、アプリケーションプログラミングの楽しさを理解してもらうとともに、オペレーティングシステムやソフトウェアを作るためのソフトウェアについての理解を深めてもらうため、合宿形式で実習を中心とした講義を行うことで、将来高度なIT人材を目指すような人材を発掘・育成する。

2つのコースを同時に開催することで、双方の参加者・講師陣・関係者が交流し、近い将来、本キャンプ参加者のコミュニティから情報セキュリティとプログラミングに関して優れた人材の輩出及び本キャンプを中心とした人的ネットワークの構築が図られ、各地で自律的な活動へと定着することを目指します。

2. 募集の内容

4泊5日の合宿形式で行う、情報セキュリティおよびプログラミングの知識と技術を学ぶキャンプです。セキュリティコースとプログラミングコースがあり、どちらかのコースに参加できます(両コースに応募・参加することは不可)。

キャンプにかかる費用(自宅と会場間の交通費(実費。ただし経路、利用路線については主催者側の規定するものを利用していただきます)、宿泊費、食事代(3食)、講義代、テキスト代、機器/施設使用料など)はすべて主催者側で負担するので、参加者は無料で参加することができます。

なお、応募は必ず1名で本人が行ってください。保護者の引率は必要ありませんが、特別な事情により付き添いが必要な場合は事務局までご相談ください。(但し、20歳未満の方は保護者の同意書が別途必要になります)。

3. 日時と場所

開催日：平成20年8月13日(水)～8月17日(日)4泊5日

開催場所：(財)海外職業訓練協会(OVTA)(千葉市美浜区ひび野1丁目1番地、JR京葉線海浜幕張駅下車 徒歩8分)

<http://www.ovta.or.jp/> ※本件に関して、上記会場に直接問い合わせることはご遠慮ください。

4. 参加資格

日本国内に居住する、**平成21年3月31日時点において22歳以下の学生・生徒。**

◎本事業の対象は就業前の教育段階における若者です。職業をお持ちの方はご参加いただけません。また、18歳以下の若い学生・生徒の方々の積極的な参加を歓迎いたします。

◎参加が決定した際には、ご本人確認のため、証明する書類(学生証など)の写しを必ず提出していただきます。

◎参加資格についてご不明な点があれば、事務局までお問合せください。

以下を参加の条件といたします。

- ・個人で自宅と会場の往復ができること。
- ・団体生活のルールを守り、他の参加者と協調して参加できること。
- ・セキュリティ&プログラミングキャンプ2008の全日程を通して参加できること(一部講義課目のみの参加はできません)。
- ・セキュリティまたはプログラミングに関して、講習を受けられるだけの基礎知識、および積極的に取り組む姿勢を持っていること。
- ・別途定める「セキュリティ&プログラミングキャンプ2008」実施規程を遵守できること。
- ・応募時点で20歳未満の方は、参加について保護者の同意を得られること(参加決定時に保護者の同意書を提出していただきます)。

(注)過去4回開催のセキュリティキャンプに参加された方は、プログラミングコースにのみ、今回の参加資格(年齢など)と条件に合致すれば、応募できます。応募用紙の欄外に過去のセキュリティキャンプの参加年度を明記してください。

5. 応募の方法

参加希望の方は、セキュリティコース・プログラミングコースのいずれかの応募用紙に、氏名、性別、住所、生年月日および年齢、所属先(学校)、連絡がつく電話番号、連絡がつくE-mailアドレス(確実に連絡がつくアドレスを書いてください。重要な連絡がE-mailでのみ行われる場合があります)、応募用紙にある質問事項について記入し、事務局まで、E-mail(添付ファイル)にて(FAX、郵送でも可)送付してください。(「セキュリティ&プログラミングキャンプ2008」のWebページに記入例があります)

なお、**参加者は実行委員会による厳正な書類審査により決定させていただきます。**

◎同一人物が両コースに応募された場合には無効とさせていただきます。必ずどちらかのコースを選択して応募してください。

◎応募用紙の記入事項、質問事項に不備があった場合には、受領されない場合がありますので注意してください。

◎E-mailで応募される場合には、必ずメールのタイトルを以下のとおりコース 別に明記して、

応募専用アドレス(camp-entry@jipdec.or.jp)宛に送信してください。

・セキュリティコース申込:「キャンプ2008 セキュリティコース参加申込」

・プログラミングコース申込:「キャンプ2008 プログラミングコース参加申込」

◎応募された方には、事務局より「セキュリティ&プログラミングキャンプ2008 応募用紙受領」というタイトルの確認メールを送信します。**応募用紙送付後、3日間経過しても確認メールが届かない場合には、応募用紙が受領されていない場合がありますので、事務局まで必ずお問い合わせください。**

6. 募集人数

セキュリティコース、プログラミングコース合わせて約45名

7. 応募用紙送付先および問い合わせ先

財団法人 日本情報処理開発協会 「セキュリティ&プログラミングキャンプ2008事務局」宛

〒105-0011 港区芝公園3-5-8(機械振興会館内)

TEL: 03-3432-6964(平日の9:00 ~ 17:15) FAX: 03-3432-9389

応募専用アドレス E-mail: camp-entry@jipdec.or.jp

問い合わせおよびその他 E-mail: camp@jipdec.or.jp

URL: <http://www.jipdec.or.jp/camp/> (応募用紙はホームページからダウンロードできます(Word形式のファイルあるいはPDFファイル))

8. 応募締切

平成20年7月7日(月)必着(メール、FAXについても同日内に到着したものを有効とします)

◎毎年最終日に応募が集中し、受領確認メールの送信が遅れることがありますので、早めにご応募いただきますようお願いいたします。

9. 参加決定のお知らせ

実行委員会での厳正な審査の上、応募された方全員に書類審査結果をメールにて**平成20年7月12日(土)**までに連絡いたします。

10. 講師および実行委員

講師は、実行委員会により選ばれたセキュリティおよびプログラミングの世界で活躍する最先端の有識者が担当します。また、ITの分野で活躍されている有識者・法曹関係者の方々による特別講義も予定しております。

★講師から一言:



セキュリティ&プログラミングキャンプ2008 セキュリティコース講師(主査) 園田 道夫(サイバー大学)

情報セキュリティの分野は、間口が広く奥が深い、とわれています。そして残念ながらその間口も深さも満たせていないのが現状です。セキュリティキャンプで求めているのは、その間口や深さを埋めていただく人材であることは確かなのですが、それ以上に、いっそのことその間口を狭くしてしまう、あるいは深さを浅くしてしまうような、思い切った発想、独自のアイデア、技術、スキル、そういうものを編み出していただけるような人材です。

・・・と書くと、やたらとハードルが高いように思えますが(笑)、要するに「情報セキュリティに関心がある」「突飛なことを考える」「それを実現する熱意がある」「とにかくやってみる」という人に来ていただきたいですね。というか業界、教育研究界が大歓迎するはずですよ。とにかくお待ちしております。

セキュリティ&プログラミングキャンプ2008 プログラミングコース講師(主査) 吉岡 弘隆(ミラクル・リナックス株式会社)

- ・オープンソースソフトウェアを開発する元気のいい若手プログラマを輩出したい。
- ・単にプログラミングテクニックが凄いというだけではなく、コミュニティのリーダーとして、人々の話をよく聞き(コミュニケーション能力)、信頼されるようなプログラマを輩出したい。
- ・彼等が今後の核になってさらに新しい人材を発見発掘するというエコシステムを作りたい。
- ・彼等が新しい価値を創造し、世界から尊敬されるような人々になって、日本という地域が、そのような人々が集まるような場所にしたい。

10年で200人。

これが、わたしのユメです。

そのような若者を雇用するビジネスを作るのが大人の役目でありませう。



「セキュリティ&プログラミングキャンプ2008」は、セキュリティ&プログラミングキャンプ2008実行委員会によって運営されております。講師および実行委員の詳細は、「セキュリティ&プログラミングキャンプ2008」のWebページをご覧ください。

11. 「セキュリティ&プログラミングキャンプ2008」の主な内容

★セキュリティコース

- 講義中の演習は基本的にグループで行います。
- 参加者全員が受講する「基本科目」と参加者の興味に応じて選択できる「専門科目」を設定しており、基本科目を受講した後に、選択制の専門科目を受講していただきます。専門科目には、Webプログラムコース、サーバコース、ネットワークコース、解析コースのコース別選択科目と、ハニーポットや無線LANセキュリティなどの自由選択科目があります。
- キャンプ期間中は、講義と演習だけでなく、セキュリティ業界の最先端で活躍されている識者の方々(有識者、およびセキュリティ業界の若手技術者など)の講義およびプログラミングコース参加者と合同の交流会などのイベントも実施します。
- セキュリティの実際の現場を体感できる企業見学会を行う予定です。
- 全体を通じて、講義内容と連動して様々なセキュリティに関するテーマについてグループ演習を行い、最終日には研究成果発表会を行います。

★プログラミングコース

- 講義中の演習は基本的にグループで行います。
- 実際にプログラミングを自分で行うことを中心とした講義と演習を行います。
- オープンソースという視点から、自分の作成したプログラムを配布するためのノウハウを学びます。
- 参加者全員が同じ科目を受講します。
- キャンプ期間中は、講義と演習だけでなく、業界の最先端で活躍されている識者の方の講義および、セキュリティコース参加者と合同の交流会などのイベントも実施します。
- プログラミングの実際の現場を体感できる企業見学会を行う予定です。
- 受講した内容をもとにして、グループ演習を行い、その結果を最終日に発表していただきます。

■セキュリティ&プログラミングキャンプ2008 講義課目概要

セキュリティコース 講義課目概要	プログラミングコース 講義課目概要
[基本科目] 情報セキュリティ基礎(必須) ルールとモラル、安全に使うには、使わせるには	[基本科目] プログラミング入門1 C言語を使ってみよう ログイン、エディタ、コンパイル実行、環境とツールの説明など
[専門科目](選択制) <input type="checkbox"/> Webプログラミングコース ・Webアプリ脆弱性とWebセキュリティテスト ・セキュアプログラム開発 <input type="checkbox"/> サーバコース ・セキュアOSを使ったサーバのセキュア化 ・DNSサーバのセキュリティ <input type="checkbox"/> ネットワークコース ・ネットワーク構築基礎とVPN ・パケット工作から学ぶネットワークセキュリティ <input type="checkbox"/> 解析コース ・パケット解析 ・ハードディスク解析 他に自由選択科目としてハニーポット、無線LANのセキュリティなどを予定	[専門科目] ※全員が同じ科目を受講します ・プログラミング入門2 アルゴリズムとデータ構造 ・プログラミング入門3 ポインタ、データ操作、リストと再帰 ・デバッグの手法を学ぶ ・C言語によるゲーム制作1・2 ・Javascriptによるゲーム制作1・2 ・Code Reading実践 ・SCM(ソースコード管理システム)を学ぶ ・OSネットワーク ・OSプロトコルスタック ・OSS(オープンソースソフトウェア)を学ぶ など

(注)「セキュリティ&プログラミングキャンプ2008」で演習に使用するネットワークはキャンプ専用の閉じたネットワークで、一般のネットワークとは隔離されたものです。

キャンプにおける実施内容については変更することがあります。なお、詳細な講義課目については、セキュリティ&プログラミングキャンプ2008ホームページに順次掲載していきますので、そちらをご覧ください。

12. その他

参加が決定された方には、「セキュリティ&プログラミングキャンプ2008」実施規程を遵守する旨の誓約書を提出していただきます。基本的には参加者の付き添いは認めません。ただし、特別な事情により付き添いが必要な場合は事務局までご相談ください。キャンプ期間中には、マスコミ各社による取材活動が行われることがあります。また、開催後にはホームページにて「セキュリティ&プログラミングキャンプ2008」の開催報告をいたしますので、参加者には参加決定後に参加者が写っている画像使用の許諾をとらせていただきます。本キャンプ実施の成果をはかることを目的として、キャンプ参加後、本キャンプ参加者については定期的にその後の活動状況についてフォローアップ調査させていただくことを予定しています。キャンプ期間中は、未成年者の参加が多く見込まれることから、成人の参加者の飲酒および指定場所以外での喫煙を禁止します。

[個人情報の取り扱いについて]

主催者および事務局が「セキュリティ&プログラミングキャンプ」の実施運営に際して取得した個人情報は、財団法人日本情報処理開発協会(JIPDEC)の個人情報保護方針に基づき、適正に取扱いを行います。「セキュリティ&プログラミングキャンプ」の運営に関してのみ使用し、その他の第三者に提供することはありません。(JIPDEC個人情報保護方針: <http://www.jipdec.or.jp/ov/kojin.html>)

以上の内容をご承諾いただいた上で、参加申込みしてください。